

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リカバリー未広			
○保護者評価実施期間	令和7年12月8日 ~ 令和7年12月19日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	令和7年12月8日 ~ 令和7年12月19日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月27日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者さまご本人が楽しみにされている	自然体験や店舗での買い物体験といった施設外での体験重視の活動を定期的に行っている	同じ場所でも季節が違うと楽しみ方が変わるということへの関心が持てるよう、同じような活動内容のなかでも変化をつけた企画を立てる
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員数やスペースが適切かどうか判断しにくい点	支援現場の状況を知る手段が少ない	運動会以外にも見学できるような参観日(週間)を設定することや投稿できていないInstagramを更新するようにして、接点を増やし保護者に納得感が得られるようにしていく
2	非常時等の対応について、保護者からわからないという返答が多かった	主な活動内容については引き渡し時に話題にすることは多いが、年間の避難訓練や非常災害対策訓練の実施していることを保護者からすると知る機会がないと考えられる	契約時の説明後、改めて現在の取り組みや緊急時の連絡体制などを書類などを通じてお知らせしていく
3	活動が固定化しないような取り組みができるていないのではないかというご意見について	新しい活動内容にしていく部分と、内容を固めて行く中でのブラッシュアップが良い活動が見極められない 保護者視点からだと事業所から伝わりにくい部分もある	支援プログラムの中で共通していることがあるように、ねらいに対してのアプローチや手立てを増やせるよう事業所研修を行うなどして、新規活動へのきっかけ作りを行う